# 医療だより

## Ⅱ市民医療センター

戸田市美女木 4-20-1

3 421-4114 FAX 421-4218

国際興業バス 西川ロー北戸田線

- ●「市民医療センター」下車
- tocoバス(美笹循環)
- ●「市民医療センター」下車



#### 診療科目

内科、小児科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、整形外科、耳鼻咽喉科 診療科目によっては、診療日が決まっている場合があります

#### 受付時間

- 月曜日 午前8時30分~11時30分、午後2時~5時
- 火~金曜日 午前8時30分~11時30分、午後1時30分~5時
- 土曜日 午前8時30分~11時30分、午後1時30分~4時
- 予防接種:月·水·金曜日(要予約)

2月13日(日)

# 休日・平日夜間の診療機関(急患)

かかりつけ医を持ち、早めの受診を心掛けましょう

※休日・平日夜間の診療機関は、診療時間内に受付を済ませてください

新型コロナウイルスの影響により急患(夜間休日)診療所の運用を次のとおり とします。

- ・現行どおり、当面の間は蕨のみで開所します
- ・インフルエンザ迅速検査は原則行いません

【内科・小児科】※詳しくは蕨戸田市医師会ホームページをご覧ください

戸田休日・平日夜間急患診療所

●蕨戸田市医師会館となり

1月は開所しません。

蕨休日・平日夜間急患診療所

●蕨市福祉・児童センター内 ◎431-2611 休日診療日 1/1、2、3、9、10、16、23、30、 2/6、11、13

休日診療時間 午前9時~正午、午後1時~5時 平日夜間診療月 1月・2月

毎週月~金曜日の平日夜間診療時間 午後7時30分~10時30分 ※休日を除く

【小児科】※平日夜間診療時間のあと

毎週月~金曜日の平日夜間診療時間 午後10時30分~翌朝7時 ※受診される場合は、必ず事前に各医療機関に電話でお問い合わせください **月・水・木・金曜日** ●戸田中央総合病院(戸田市本町1-19-3 ◎442-1111) 火曜日 ●済生会川口総合病院 (川口市西川口5-11-5 @253-1551)





## Ⅱ救急電話相談

(ダイヤル回線、IP電話、PHS、 #7119 **2048-824-4199** 都県境の地域でご利用の場合)

24 時間相談対応 年中無休

年齢を問わず、急な病気 (発熱、下痢、嘔吐など)やけがの、家庭での対処 方法や医療機関の受診の必要性について、看護師が電話で相談に応じます。 判断に迷ったときは気軽にご連絡ください。 

※AI救急相談も行っています。右のQRコードから、スマートフォ ンやパソコンでご利用ください。この電話相談およびAI救急相 談は助言を行うもので、診断や治療を行うものではありません

問い合わせ 県医療整備課 @048-830-3559

県精神科救急情報センター 🐻 048-723-8699 (ハローキューキュー)

夜間・休日に、精神疾患を持つ方や、その家族などからの緊急的な精神科 医療相談を、電話で受け付けています(県在住者が対象)。※非通知設定の 電話はつながりません

受付時間 月~金曜日:午後5時~翌朝8時30分、

土,日曜日、祝日:午前8時30分~翌朝8時30分

問い合わせ 県立精神保健福祉センター ®048-723-3333

【產婦人科】休日診療時間 午前9時~正午、午後1時 ~5時

※当番医は変更になる場合もあります。受診前に必ず電話 でお問い合わせください。受診は急患のみです

C 40 1510 - 15 45	C \ / C C V % \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
1月1日(祝·土)	蕨市立病院 @432-2277 蕨市北町2-12-18
1月2日(日)	戸田中央産院
1月3日(月)	蕨市立病院 @432-2277 蕨市北町2-12-18
1月9日(日)	戸田中央産院 @444-1181 戸田市上戸田2-26-3
1月10日(祝·月)	蕨市立病院 @432-2277 蕨市北町2-12-18
1月16日(日)	桜公園クリニック ◎446-3950 戸田市新曽南3-12-18
1月23日(日)	蕨市立病院 @432-2277 蕨市北町2-12-18
1月30日(日)	白石はなももレディースクリニック ◎434-4809 戸田市新曽2200-2ロイヤルメト゛ゥ北戸田2F
2月6日(日)	戸田中央産院 ◎444-1181 戸田市上戸田2-26-3
2月11日(祝·金)	飯田クリニック @441-2730 蕨市南町2-14-8

コラム

### コロナ禍でのこころとからだの不調 特に子どもの起立性調節障害について

戸田市本町3-15-21

西村レディ-スクリニック @447-5311

コロナ禍では、新型コロナウイルス感染症の症状 だけでなく、自分や家族がいつ感染するかわからな いという不安や心配から精神的なストレスが増加しま す。また、外出自粛や在宅勤務、休校などにより生 活様式が変化し、運動不足になったり、寝ている時 間が長くなったりして、身体機能が低下してしまいま す。このようにコロナ禍では、ストレスにより、心身 両面にさまざまな不調をきたしやすい状況にあるとい えます。

特に発達期の子どもたちは、心理的・社会的なス トレスや自律神経・ホルモンのバランスの不均衡な どから、朝起きられない、立ちくらみ、頭痛、吐き 気、倦怠感などの身体的な症状が午前中に現れるこ とが多くあります。これは起立性調節障害にみられ る症状で、コロナ禍で中高生に増加している心身症 のうちの一つです。

まず、基本的な生活習慣を見直してみましょう。 早寝早起き、栄養バランスのよい食事、適度な運 動、家族や友人とのコミュニケーションなどを心掛け ましょう。十分な睡眠はとても大切で、夜寝る前に スマートフォンなどを使用するのは控えたほうがよい でしょう。どうしてもつらい症状が続き、お困りの場 合には、医療機関などへの相談をお勧めします。